

診断のための  
手術を受けられる

様へ (ID: ) 主治医:

	入院日 ( / ~ / )	手術前日 ( / )	手術当日 ( / )		術後1日目 ( / )	術後2日目 ~ 退院日(術後4日目) ( / ~ / )
			手術前	手術直後		
目標	身体・精神的に問題なく手術に臨める		痛みがコントロールされる		歩行、食事ができる	退院に向けた生活ができる
治療処置		○長衣・紙パンツ・弾性ストッキングに着替えます ○手術は( )番目、( )時に手術室に入ります	○ベッドで4階に戻ります ○手術する側の胸に管が入ります。抜けないように注意して下さい ○尿道カテーテルが入っています	○早朝、尿道カテーテルを抜きます ○レントゲンで問題なければ胸の管を抜きます	○深呼吸→傷を手で押さえると痛みが和らぎます。肺の広がりをするため、時々深呼吸をしましょう ○痰を出す→痰が溜まると肺炎になります。出しにくい場合や痛くて咳払いができない時は、薬を用意しますので教えてください	
点滴	○血液を固まりにくくする薬を飲んでいる方は、その代わりに点滴をすることがあります	○2番目に手術を受ける方は午前中から点滴をします	○点滴・抗生剤があります ○背中に痛み止めの管が入る場合があります			
内服薬	○入院中は必要最低限の薬のみ飲んでいただきます				○痛みが強いときは、痛み止めの薬を用意します	
検査	○必要に応じて採血、腎機能検査、胸部レントゲン、心電図検査を行います				○術後は、胸の管が抜けるまでレントゲン撮影があります。必要に応じて採血を行います	
食事	○手術前日の夜9時以降、何も食べないで下さい。水分は摂ることができます。	○1番目の方は6時以降、2番目の方は9時以降、何も飲まないでください	○むせ込みがないか確認後、水分が摂れます	○朝から食事が始まります。吐き気がある場合は教えてください。栄養は傷の治りを良くし体力がつくので、なるべく食べるようにしましょう		
活動			○1日ベッドで安静です。体を動かしたい時は、看護師に声をかけて下さい	○朝から歩行できます。トイレは歩いていきます ○手術側の腕や肩関節も積極的に動かしましょう		
清潔	○手術前日は必ず入浴してください	○歯磨き・洗面などを済ませて下さい。化粧品や整髪剤は使用しないで下さい		○胸の管が入っている時は下半身シャワーができます ○胸の管が抜けると、全身シャワー浴ができます。お湯に浸かるのは退院後の外来まで控えてください		
説明	○医師より手術の説明があります	○手術見学を希望される場合、病棟のモニターで見学できます	○手術終了後、医師よりご家族へ説明があります。手術中は病棟を離れないようにして下さい	○術後のリハビリや過ごし方について説明があります	○主治医から退院の許可があり、退院日が決まります。退院日に外来の予約票、退院時の処方薬をお渡しします	
備考	○手術用の必要物品をそろえ、名前(フルネーム)を書いて下さい	○コンタクト・金属類・義歯・湿布は外して下さい ○貴重品は鍵付きの引き出しに入れてください				

入院期間・記載内容については現時点で予想されるものです。症状により変更されることがあります。

説明看護師:

患者・家族: